

## 5 夢を持って取り組めば「苦」も「楽」となる

佐藤(旧姓草野) 千歩子

(平成 25 年度畜産学科卒)

就農年	平成 26 年
就農地	茨城県常総市
主な作物	和牛繁殖・肥育一貫経営



牛が取り持つ縁

### 【私と牛との馴れ初め】

私の祖父は、福島県で繁殖牛を飼養していました。私は小さいころから牛が大好きで、学校が休みの日は祖父の家へ遊びに行き、牛舎での給餌作業や繁殖管理、畑での飼料作物栽培などを、見たり手伝ったりして過ごすのが大好きでした。このため、高校進学の際は、迷わず地元福島県いわき市にある農業高校に決めました。高校の実習では、牛舎での黒毛和種の母牛の飼育や、生産された子牛を育成して市場に出荷するまでの飼養管理を学びました。実習を通じて牛がますます大好きになり、畜産を将来の仕事として意識するようになりました。

### 【茨城農大への進学】

高校3年生のとき、農業大学校へ進学することは早めに決めましたが、「福島か茨城か」で大いに悩みました。当初は地元である福島県を考えたのですが、最後は、「いわき市から山越えしないで行くことができる」ことが決め手となって、茨城県に進学することに決めました。

### 【充実した農業大学校生活】

農業大学校では畜産学科に入学し、繁殖牛の飼養管理を学びました。自分たちが育てた母牛の出産に立ち会った際は、一生懸命生まれて来ようとしている子牛の姿に感動しました。生まれたての子牛のかわいらしさは格別で、ハートをわしづかみにされました。良い牛に育つように、日々試行錯誤しながらも、子牛のミルクや餌の給与などに一生懸命取り組みました。そして、自分たちで育てた子牛が日々立派に成長して子牛市場に出荷されていく姿を見ることができたのは、魅力的で達成感のある経験となりました。

また、畜産学科では酪農も学びました。搾乳は、年間を通じて一日も休むことなく、朝5時と夕方15時の2回あります。朝の搾乳は、学生が2人ずつ当番になり行きます。慣れないうちは、自分の当番の日は寝過ごさないように緊張し、目覚ましのセット時刻より随分前に目が覚めてしまうことが多かったことを今でも覚えています。朝の搾乳当番の日は、

朝食後の朝一番の講義が「睡魔との戦い」となってしまいましたが、講師の先生方が畜産学科の当番学生にご配慮下さいましたので、とても助かりました。

「牛に始まり牛に終わる」私の農大生活でしたが、その合間には、大型特殊自動車運転免許や家畜人工授精師免許などの資格取得に取り組みました。また、体育祭や農大祭などの学校行事にも積極的に参加するなど、充実した2年間を過ごすことができました。

### 【就農のきっかけ】

農大2年生の「先進農業派遣実習」では、和牛の繁殖・肥育を希望しました。受け入れ先を探しているとき、手を挙げてくださったのが私の現在の家族である「ドリームファーム」の佐藤家です。実習を始める前には、卒業後と同時に長男の治彦さんと結婚し、ドリームファームの一員として就農することになるとは予想もできませんでした。今考えると、まさに「牛が取り持つ縁」だったなあと強く感じます。



我が家「ドリームファーム」

### 【これからの夢や目標】

我が家「ドリームファーム」では、繁殖・肥育一貫経営で黒毛和牛の生産を行っています。平成26年度には、稲作農家と連携した飼料生産により飼料自給率を向上させたことや、高度な繁殖牛の管理技術と優れた肥育技術などが高く評価され、農業者最高の栄誉といわれる、「農林水産祭天皇杯」を受賞することができました。これからも、消費者に美味しいと感じてもらうことを第一に、消費者に評価される牛づくりを実現し続けるとともに、卸小売業者や専門業者との信頼関係をさらに高く構築して行き、畜産業界を元気にしていきたいと考えています。『夢（ドリーム）を持って取り組めば「苦」も「楽」となる』これが我が家の、そして私の生きる哲学です。



健康な大地で健康な牛が育ちます



子牛のかわいらしさは格別です